

抑制の検査-スターライトテスト:starlight test

参考) 平井淑江:視能学 P 311
丸尾敏夫:眼科診療プラクティス 86P54

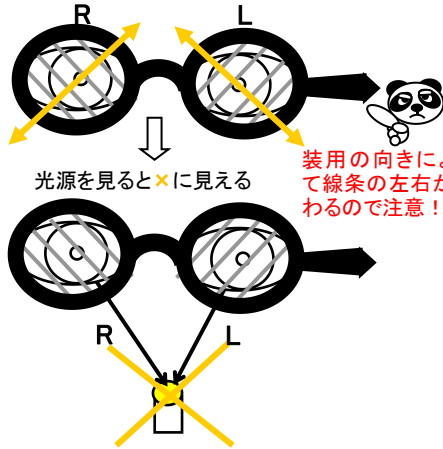
目的
斜視弱視症例での中心部及び周辺部も加えた
日常視に近い状態での両眼視(抑制)の把握
視野狭窄の症例における詐病の検出

不同視性弱視か斜視術後の
適応でしょうか。
斜視弱視症例での中心部及び周辺部も加えた
日常視に近い状態での両眼視(抑制)の把握
視野狭窄の症例における詐病の検出

準備物 光源3個・Bagolini レンズ

Bagolini レンズとは
例)右眼 135° と左眼 45° に装用した場合

光がそれぞれ直交した線となって見える



光源を目的に応じ左右又は
上下に 3 個等間隔に並べる

Hess チャートと同じ間隔に
光源の位置を決めれば 1.4m離れた
距離で 1 マスが 5° 間隔なので 30°
の両眼開放視野が測定できる。

検査したい距離にて Bagolini レンズ
を装用して中央の光源を固視させる

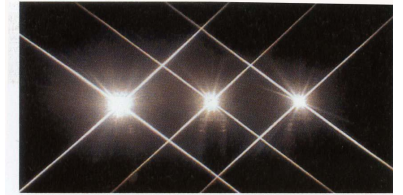
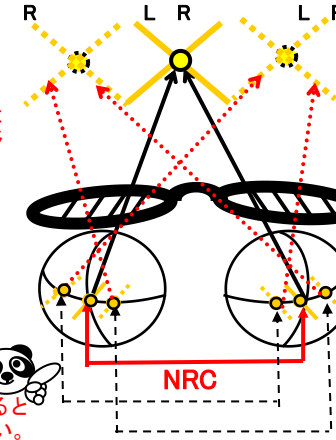
光源に近づけば測定視野は
拡大し、離れると測定視野
(網膜の範囲)は縮小する。

光源と中央の線の見え方を被検者に聞く
・線の数は何本か?
・光の数はいくつか?
・交代に見えないか?

見え方の詳細は網膜対応
検査の項に。

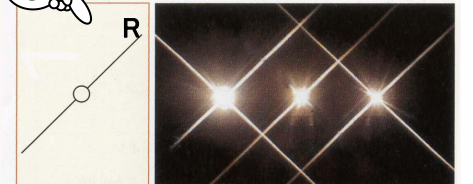
中央の光源を見ながら、同様に左右又は
上下の光源と線の見え方を被検者に聞く

例)正常者の見え方



平井淑江:視能学 P312 図 25 正常者の見え方

下图のBG装用は左図とは反対なので注意!



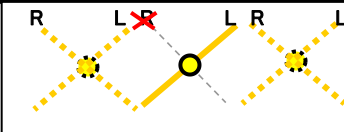
平井淑江:視能学 P312 図 26 内斜視術後症例の見え方

線条試験で左眼の抑制を示したが、この検査では、周辺融像が確認された図

*右眼 135° と左眼 45° に装用した場合

* 右眼中心窩抑制の
場合

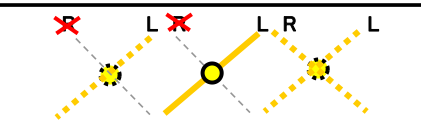
中央の光源は斜め1本線で
周辺の線は に見える



中央の消えている方の眼の中心部抑制
周辺部融像は可能

* 右眼中心窩抑制と右眼耳側
網膜周辺融像の抑制の場合

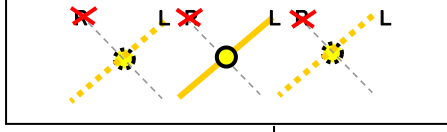
中央の光源は斜め1本線で周辺の
光源の片方が斜め1本線に見える



中央の消えている方の眼の中心部抑制
周辺は消えている方の眼の周辺部抑制

* 右眼中心窩抑制と右眼網膜
周辺融像の抑制の場合

中央の光源は斜め1本線で
周辺の線も全て斜め1本線に見える

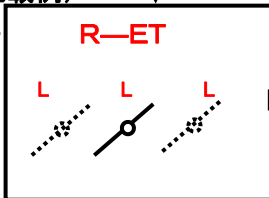


中央の消えている方の眼の中心部抑制
周辺融像も不可能

注意!!
ただし理論上、斜視がある
場合、抑制がないなら×が
3つ見えるが、光源は×の
中央を通らず6つ見えるは
ず。まあ、周辺融像はかなり
いい加減なのでなんとも言
えないが…。不同視性弱視
か斜視術後の適応になると
思う。

結果・記載例)

記載例はまだ
決まったものはないが、
眼位と見えた図とRLの
記入は必要でしょう。

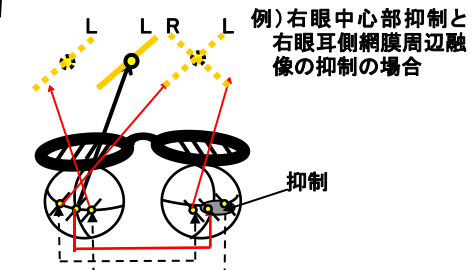


自分の結果を書いておこう!



説明

- ① 網膜の位置の確認はまず、3つの光源がどの部位になるかを確認する。
- ② R・L眼のどちらかのチェックは光源からの線の方で確認する。



例)右眼中心部抑制と
右眼耳側網膜周辺融
像の抑制の場合